

【別紙】平成28年度 学校自己評価重点目標シート (川口市立川口高等学校)

(A4判横)

※学校関係者評価実施日とは、学校関係者評価委員会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

学校教育目標	教育基本法および学校教育法にのっとり、中学校における教育を発展充実させて、高等普通教育および商業に関する専門教育を施し、もって、高潔にして調和のとれた人格を備え、民主的な国家・社会の形成者としての自覚と責任感と実践力に満ちた、心身ともに健全な国民の育成を期する。
目指す学校像	・高い志と使命感を育み、人や社会に貢献する生徒を輩出する学校 ・豊かな心と健やかな体、高い学力を育成し、自己実現を通じて、愛着と誇りのある学校 ・関係者、地域の期待に応え、よき伝統を受け継ぎ、新校へ円滑に引き継ぐ、信頼される学校

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

出席者	
学校関係者 (教職員を除く)	名
事務局 (教職員)	名

学 校 自 己 評 価						
領 域	年 度 目 標			年 度 評 価 (平 成 年 月 日 現 在)		
	現状と課題	重点目標	具体的方策	重点目標の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
組織運営	<ul style="list-style-type: none"> 学年や分掌等が創意工夫を常に行い、様々な組織が活動を行うとともに、連携しながら進めることをお願いしている。人事異動もあり、さらに連携を強化し、継続的に学校全体で取組みを発展させていく必要がある。 市立3校統合に向けて、市教委・準備部会と連携し、円滑な統合を目指す必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> チーム川口として、組織的な教育活動と本シートと連携した各学年・分掌等の取組みと各連携を強化する。 本校に開設された新校開設準備部会を中心とし、他の2校との円滑な統合を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校自己評価重点目標シートと学年・分掌・委員会・教科・個人を連携させる。 ○学校・学年・分掌・委員会・教科において中間評価を導入する。 ○学年・学校全体集会での、事故防止指導を徹底する。自転車マナーアップ推進校として交通事故防止、登校指導・自転車点検、乗り方指導、交通安全教室等を行う。 ○市と開設準備部会との進捗状況を職員会議等で周知する。 			
教育課程	<ul style="list-style-type: none"> ・国公立大学5名合格や有名私立大学の複数合格など、生徒の進路希望実現には一定の成果が表れているが、自ら考え行動し、自立する生徒の育成に課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒一人一人の大きな目標の表現にむけて、個に応じた適切な指導と教育課程の実施と検討改善を行う。 ・勉強と部活動にバランスよく取り組むとともに、自考、自学自習できる生徒の育成を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒の希望を尊重する中で、国公立、有名私立大学一般受験合格者の増加を図る。進路指導部を中心として、学年・教科が一体となった進路指導を行い、昨年度以上の進路実績を目指す。 ○センター試験受験を励行し、受験者数200人以上となるような進路指導を行う。 ○学習サプリ利用について、職員の共通理解を深め、授業、課題等でも利用し、積極的な学習サプリの活用を推進する。 ○勉強と部活動の両立を生徒に励行する。 			
開かれた学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・授業公開や学校説明会、中学校訪問などで、本校に対する一定の理解は進んでいる。一方、現在の取り組みを充実させながら、情報発信に取り組み、新校開設に向け、更なる理解を得る必要がある。 ・地域との関係を一層良好にする必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本校の情報発信を多くすること、関係者だけではなく応援者 (理解者) の拡大を目指す。 ・地域 (特に中学校) や関係機関との連携を強化する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ホームページの刷新と更新数を増やし、日々の教育活動および新校に関する情報を積極的に発信する。(情報量とアクセス数の増加) ○従来の中高連携を強化するとともにし、関係各機関との連携を深め、本校や新校の情報提供を行う。 ○土曜日の公開授業や学校説明会の充実による、魅力の発信やPRを積極的にを行う。 ○地域との連携 (幼稚園、小学校との交流事業の実施、中学校とのスポーツ交流、幼・小・中学校PTAとの交流) を深める。 			
教職員の資質向上	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒のアンケートや進路実績から見ると本校教員の指導力は高い水準で維持し、満足度も高いが、経験、在職年数等により、職員間の指導力に差が出るのが懸念される。また、生徒一人一人が自ら考え行動し、実力を伸ばして、目標である進路実現を達成できるように、より一層の指導力の向上を図る必要がある。 ・家庭環境や生徒の個性の多様化により、これまで見られなかった指導のケースが出現している、 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導目標や指導内容の共通理解を図り、指導内容、教材、考査等の共通化を進め、チーム力を向上させる。 ・互いの授業観察による授業研究や研修などとおして、指導力を向上させる教員集団を形成する。 ・教育相談、特別支援体制の整備・充実を図るとともに、生徒自ら考え、互いに支えあえるような環境づくり、指導を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ○授業内容・レベルをセンター試験受験を想定するところを基準とする。(全教科目において全国平均点超えを目指す。) ○同科目、同シラバス内での、教材の共有や定期考査問題の統一化を図り、教員相互の情報・意見交換を推進する。 ○教員同士の授業観察を積極的に行い、外部の研究会への参加を奨励し、教員の授業力、指導力向上の機会を増やす。 ○引続き生徒による授業アンケートや評価を実施し、さらなる授業力向上を目指す。 ○先進校視察や統合する他の2校等への他校視察を実施し、指導力の向上と共通理解を推進する。 ○教育機関・教育相談関係者等講師を招いての研修会を実施する。 			
施設・設備等の管理	<ul style="list-style-type: none"> ・60年の伝統がある古い学校ではあるが、統廃合を視野に入れつつ、生徒の学びの場として、安全・安心な施設・設備の管理を徹底していく。備品機器等の整理を図るとともに、新校へ引き継げる機器については、前倒しして充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安心・安全を踏まえた施設・設備等の管理を徹底する。効果的・効率的な予算の執行をする。 ・非常災害時における緊急対応の整備を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学期ごとの施設点検と必要な補修を行う。 ○朝夕、清掃時、授業や部活動等における日常点検を実施する。 ○節電・節水の励行を適時適切に呼びかける。 ○ICT機器の整備、新校にも引き継げる施設・設備を充実させる。 ○非常災害時における対応体制を確認し、必要に応じて見直す。 ○非常用メール配信の整備を行い、加入率を上げる。 			

学 校 関 係 者 評 価	
※実施日	平成 年 月 日
学校関係者からの意見・要望・評価等	